

## Hitotsuyama Racing

## オートポリス



- STP
- SUN'S CREATE Co., Ltd.
- A2 TECHNICA
- 印風 房間
- AOBA Driving School
- SS StarFive Motor Racing Store
- R'S DESIGN MOTORSPORTS

- M'SLASHI
- M's Auto Mobile Service
- OFFICE SUPPORT
- アーバースホール
- 3P RACING GEAR PRINT SERVICE
- PLAT2
- PROTEX

# 2019 TCRJapan Rd1

サーキット：オートポリス

総エントリー台数：15台  
チーム名：Hitotsuyama Racing  
ドライバー：篠原 拓朗

5月16日  
練習走行 午後 1時間×1本  
5月17日  
練習走行 午前：30分×2本  
5月18日 第1戦  
予選(20分)  
決勝(23分+1Lap)  
5月19日 第2戦  
予選(20分)  
決勝(23分+1Lap)

第1戦  
予選結果：2位  
決勝結果：2位

第2戦  
予選結果：1位  
決勝結果：リタイヤ





## ～木曜日～

## ドライ

ツーリングカーでオートポリスを走行するのは初めてです。

以前TCRJ車両で富士テストを行った際のデータを元に走行を開始しました。1時間が1本という枠の中で、Newタイヤは使わずに程度の良いユーズドタイヤを使いながら慣熟とセット確認を行っていききました。

セッション前半ブレーキでロックさせてしまう事もありましたが、走り出しから順調に周回を重ねました。

セッション後半にもう一度程度の良いタイヤでアタックをしようと計画しておりましたが、赤旗によりセッションはそのまま終了となりました。

## ～金曜日～

## ドライ

### 1本目

オートポリスは登り勾配のコーナーが非常に多く、FFのクルマにとってフロントタイヤに厳しいコースです。そのため如何なる状況でもNewタイヤを履いた際は1アタックで決めなければなりません。

予選が20分間のため、最初の1アタックはユーズドタイヤでセット確認を行ってから残りの20分間で予選シミュレータを行いました。シミュレーション内容としては4輪共Newタイヤでアウトインを行い、履いていたタイヤを前後入れ替えしてからアタックに移ります。その作戦によってアタック1周目からリアタイヤも発熱している状況で走れます。

1本目の走行では荷重が前に乗りきる前に動きが止まる様な感覚でコーナーのミドルからアンダーステアの状況でした。

### 2本目

1本目の状況から車高・ダンパーを変更して、1本目と同じ様にユーズドでの確認、残り20分間で同じ様に予選シミュレーションを行いました。

悩んでいた部分は改善され、アタックラップに危険回避はあったもののタイムも上がりドライでの予選に向けては非常に良い手応えを持って前日練習を終わる事が出来ました。

# 土曜日

# 第1戦

## 予選

## レイン

前日とは打って変わりレインコンディションでの予選となりました。またレインセットにするために大きくセット変更を行い予選に臨みました。

アウトラップから車の感触は良かったです。少しずつ雨脚が弱まる状況の中赤旗を挟み、その後にまたアタックをしてベストタイムを更新して最後までトップタイムでしたが、最後の最後に抜かれてしまいました。

最後の周に自分もベストタイムと同じタイムでセクター2まで走っていましたが、チームとのコミュニケーションミスによりアタックを辞めてしまったのが悔やまれます。またその部分が反省点なので、次同じ様な展開になった際には今回の反省点を活かします。

## 決勝

## レイン

スタンディングスタートではなくセーフティーカースタートとなりました。

雨は殆ど降っておらず、少しずつ路面が乾き始める状況でした。

ミスなくレースを進めていましたが、後半にはフロントタイヤがとても厳しくなり防戦一方となってしまいました。トップ3でレースを進めていく展開の中、順番はホンダシビック・アウディRS3・ホンダシビックの順でした。ホイールベースやパワーの違いによりお互いに得意不得意な部分がありバトルに持ち込む事が出来ず、予選順位の重要さを強く感じました。勝ちたかったですが、選手権最初の出だしとしては良いスタートが切れたと思います。



## 日曜日 予選

# 第2戦

## レイン

当初の天気予報、またサーキットに着いた時は曇り空で路面も乾いていたのですが、予選30分前に急遽雨が降り始めて再びレインコンディションとなりました。

時間があまりなくセット変更点は少なくなりましたが、自信を持って予選に臨みました。

最初の方は雨量が少なかったため、1周目からアタックして良いタイムを出す事が出来ました。少しずつ雨量も増えていきましたが、1回目のアタックの改善点を含めて再びNewタイヤを履いて2度目のアタックに移りました。感覚的には1日目より良いアタックが出来ましたが、雨量が増えた事もありタイム更新はなりませんでした。しかし、ポールポジションを獲れた事は非常に嬉しかったです。

## 決勝

## レイン

前日の決勝と同じ様に雨は殆ど降っておらず、路面も少しずつ乾いていく状況の中スタートしました。

今回はスタンディングスタートでした。ローンチコントロールを使っていたもののホイールスピンの多く、2.3番目のシビックに1コーナーまでで先を越されてしまいました。ブレーキに自信があったためブレーキ勝負でホールショットを決める事が出来ました。3コーナーまではバトルがもつれましたが、その後は落ち着いてレースを進められたと思います。後ろの車両の長所短所を考えながらペースを作れましたが、2周目の第2ヘアピンを立ち上がったところでパドルシフトのシステムトラブルにより2速スタックし、リタイヤとなってしまいました…自信があり、また大きなチャンスだったため非常に悔しいです。





# まとめ

今回のTCRJapanは今シーズンから開催されたカテゴリーです。  
新規カテゴリーでのレース、日曜日の予選までとても良い流れでしたが、決勝でのリタイヤは非常に悔しいです。  
レース前日までと土日のレースではコンディションも全く違いました。先輩に相談させて頂きながらではありますが、セットアップを進めて全セッショントップ3以内で日曜日にはトップに立てた事は自分自身成長出来た部分だと思います。  
土曜日のレースを終えて、ポールポジションの重要さをより噛み締めました。その中での日曜日の流れは良かったです。しかし、優勝する事が出来ませんでした。次戦のチャンスも頂けましたので、SUGOでは練習走行から全セッショントップタイムだけを考  
えて走ります。また、全アタックでもっと精度を上げて走ります。  
今回チャンスを下さった企業様、いつも応援して下さい下さる方々、チームの方々、ありがとうございました！

